



左：澤山さん（DXスクール受講生）、右：松葉 智之さん（DX推進担当）

# システム化見据え 広げるDXの輪

松葉さんは大手物流企業に勤務時代、RPA・マクロ推進委員として大規模な自動化業務に携わってきました。その経験を活かし、家業の松葉倉庫ではDX推進担当としてシステム化を牽引中。DXスクールで学んだ社員も心強い存在です。

## DXスクールへの参加 社員がDX学ぶ契機に

「これからの時代、DXに関する理解は社員にも必要」という社長の方針のもと、松葉倉庫ではDXスクールに3年連続で社員を派遣。総務部門を中心にデジタル人材を育成してきました。毎年異なる社員が参加することで、DXと向き合う社員の輪が広がりました。DXスクールへの参加が、これから社内で始まる大きなDXの取り組みと向き合う契機になったと言えます。

## RPAツールで 年90時間削減を実現

社員は学びを活かし、AIで社内イベントのチラシを作ったり、Instagramで採用情報を発信したり、新しいことに挑戦するようになりました。

システム化の取り組みではDXスクールでも紹介されていたRPAツール「Power Automate」を活用し、既存システムへのログインとデータダウンロードの自動化を実現。Excelマクロで倉庫管理システムの在庫データを自動

加工する仕組みを構築。毎日20分かかっていた在庫照合作業は5分以下に短縮されました。また、分かりやすいマニュアルを作成し、エラー時の対処法まで記載することで、管理者が不在でも業務が回る体制を整えました。

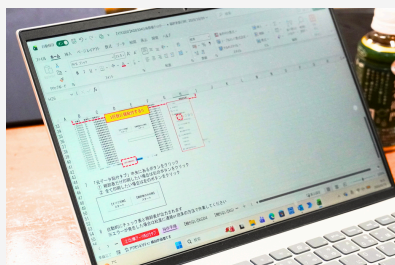
### DX事例

#### 倉庫管理システム

毎日20分かかっていた  
在庫照合作業

5分以下に短縮  
年間約90時間の削減

## 藤枝本社での全社展開、受注業務のデジタル化へ



掛川事業所で培ったノウハウをもとに、6月からは藤枝本社でも本格的にシステム化を進めます。まずはFAXやメールによる顧客からの注文を、社員が転記し入力してい

る受注業務のデジタル化に取り組む予定です。仕組み化やデジタル化が十分に進んでいない状況は、自由度と可能性が大きいと前向きにとらえています。誰でも使える環境を構築し、人材不足解消にもつながることを目指します。

## ふじえだDXリーダーズ プロフィール

- 【氏名】 松葉 智之（まつばともゆき）
- 【所属・担当】 松葉倉庫株式会社 / 経営企画室長
- 【IT経歴】 前職では、倉庫自動化ロボット導入プロジェクトを担当し、RPA推進委員として8年間従事。現在は、データ活用による業務改善とDX人材育成を推進している。

Webサイト



活用している  
DXツール

- ・ RPAツール (Microsoft Power Automate)
- ・ Excel VBAマクロ
- ・ ChatGPT等